平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	325		
会計	一般会計				
事務事業名	美術博物館管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
		○	飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	美術博物館の施設（建物・設備・備品）と展覧会等の事業
	意図	適切に管理運営する。当館所蔵の収蔵品を適切に管理する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・建築以来30年を経過している施設設備の経年劣化等への対応を計画的に進めていく必要があります。 ・観覧料金体系や開館時間等について、時代や社会のニーズに適したものにしていく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	美術博物館、柳田國男館、日夏耿之介記念館の設備、機械等について管理、修繕を行います。 観覧者や入館者の受付、観覧料等の収納等を行います。 展覧会が安全に開催できるよう管理を行います。 関連する組織に加盟し、研修や情報収集などを行います。 その他、館の運営に必要な庶務を行います。	報酬・賃金	13,379
		旅費	692
		需用費	28,874
		役務費	838
		施設管理等委託料	26,550
		使用料等	1,884
		工事請負費	8,100
		負担金等	133
		公課費	19
		その他の経費	20

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	修繕・工事等を行った建物・設備の数	か所	5			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	80,489	（そ）美術博物館観覧料4,143千円 （そ）美術博物館施設使用料10千円 （そ）諸収入690千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	4,843	
	一般財源	75,646	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	10	1	80,346 / 0	美術博物館管理費
2	1	10	5	6	11	1	143 / 0	美術博物館事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 325　事業名 美術博物館管理事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	○	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の表示(60cm×60cm)	○	○
											防火管理者の選任／消防用設備の点検（１回／年）及び結果報告／避難訓練計画の届出及び訓練の実施（1・2回／年）／無停電電源装置の法定点検と報告（1回／年）		○	○
												○	－	－
											○	高圧ガス保安法第35条1項	－	－
											電気事業法	自家用電気工作物（自家用発電設備）の保安規程に準じた点検（1回／年）／保安規程の作成・遵守／主任技術者の選任	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価 進捗状況・成果	中間評価 達成状況	年間評価 進捗状況・成果	年間評価 達成状況
・照明や空調機器等の電力消費による地球温暖化への影響がある。 ・石油類の流出による河川や土壌の汚染が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。 7月15日から12月24日まで開催した企画展「世界最南端のライチョウがすむ南アルプス」には延べ12314名の鑑賞があり、希少動植物への対応や地球温暖化に対する警鐘を感じていただく機会となった。	電気使用量の削減を 年間を通じて取り組み 対前年度比99％以内とする。	・冷房温度を１℃高く、暖房温度を１～２℃低く設定する。 ・不要照明の消灯を励行する。 ・学芸員室の老朽化した照明器具をＬＥＤ化する。 ・桜開花期の夜間開館を取りやめる。	・冷房の温度管理。 ・不要照明の消灯。 ・事務室等照明器具のLED化を実施。 ・期間の電力使用量は前年度対比91.3% 4/1～9/30：291,354kW(28実績319,014kW)	○	・暖房の温度管理。 ・不要照明の消灯。 期間の電力使用量は前年度対比98.5% 4/1～3/31：704,988kW(28実績715,811kW)	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	326		
事務事業名	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	伊那谷に存在する自然、人文、美術に関する事象や資料
	意図	調査、研究、整理し、活用できる状態にする

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・地域に根ざした魅力的な展覧会や教育普及など博物館活動を行っていくためには、事象や資料を地域資源化するための継続的な調査研究が必要です。また、資料を効果的に利活用するための整理とデータベース化も必要です。 ・菱田春草記念室の常設化に対応する収蔵作品や資料の増強と研究、整理が必要です。 ・収蔵資料の増加に伴い、収蔵保管スペースが減少しています。

29年度取組

取組内容

自然・人文・美術に関する調査研究を行い、その成果を展覧会や講座に活用します。また、学会発表や雑誌、紀要などで公表します。
　調査研究に必要な資料等の取得、必要に応じて寄贈や寄託を受けます。
　資料等を整理登録しデータベース化を進め、公開や閲覧に供します。
　傷んだ資料の修復を行います。

経費の内容	事業費(千円)
専門研究員等賃金	6,622
自然調査研究費	1,598
人文調査研究費	2,834
美術調査研究費	1,566
図書整理公開費	750
研究紀要・論集印刷費	820
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
研究発表数	件	12			
資料登録件数	点	300			
資料修復点数	点	6			
図書室の開室日数	日	110			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	14,190
国庫支出金	170
県支出金	0
地方債	0
その他	1,826
一般財源	12,194

特定財源内訳及び補足事項

（国）社会資本整備総合交付金（市街地整備）（4.5/10）170千円
（そ）諸収入1,826千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	1	176 / 0	美術博物館事業費
2	1	10	5	6	11	15	1,060 / 0	伊那谷作家調査研究事業費
3	1	10	5	6	11	16	4,874 / 0	伊那谷文化史資料調査研究事業費
4	1	10	5	6	11	17	6,284 / 0	伊那谷自然史資料調査研究事業費
5	1	10	5	6	11	18	506 / 0	菱田春草顕彰事業費
6	1	10	5	6	11	19	750 / 0	資料データベース化事業費
7	1	10	5	6	11	22	540 / 0	教育普及事業費

(環境ISO管理)

事業No. 326　事業名 美術博物館資料調査研究・収集保管事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	適正な使用と適切な管理	○	○
自動車の運転	○			×		×								
物品管理事務（薬品の使用）			○	－	－	－	－	－	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価 進捗状況・成果	中間評価 達成状況	年間評価 進捗状況・成果	年間評価 達成状況
・外出時の自動車利用による地球温暖化への影響がある。 ・コピー等紙の消費による資源消費への影響がある。 ・薬品等に有害物質が含まれるものがあり自然環境に影響がある。	コピー用紙使用量の削減を年間を通して励行し対前年度比98％以内とする	・コピー量カウンターにより使用量を把握、評価し、削減を進める。 ・裏紙の利用や両面コピーを励行する。	月平均で21,000枚で、前年度の平均24,000枚から大きく減少している。前年度は、特別展や美博ビジョン策定があり、平年より多かったが、減量に努めている	○	同左	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	327		
事務事業名	美術博物館展示公開事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	飯田市民及び下伊那郡住民、観光客　　伊那谷に関する自然・人文・美術に関するテーマ、芸術
	意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深める

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・開館以来の悲願である「菱田春草の常設展示化」と開館以来大規模更新がなされていない「博物（人文・自然）の常設展示の更新」を早急に行う必要があります。そのため、29年度に春草記念室の常設展示化を行い、開館30周年までに人文と自然の常設展示の更新を行います。 ・「伊那谷の自然と文化」を紹介し伝える企画展等を計画的に開催していく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	菱田春草常設展示をスタートします。 特別展「創画会70周年記念展」を開催します。 第18回現代の創造展を開催します。 特別陳列「没後210年佐竹蓬平」を開催します。 コレクション展示「綿半陶磁器2017」「熊谷好博子の意匠」「飯田の文雅(前・後)」「須田剋太･原鼎・藤本四八」「綿半陶磁器2018」「現代日本画コレクション」を開催します。 国史跡指定記念企画展「飯田古墳群」を開催します。 企画展「世界最南端のライチョウがすむ南アルプス」を開催します。 人文と自然の常設展示更新の準備を進めます。	菱田春草常設展示	9,991
		ｺﾚｸｼｮﾝ展・特別陳列・特別展等美術展示	2,438
		企画展「飯田古墳群」	2,500
		企画展「ライチョウがすむ南アルプス」	3,090
		柳田國男館展示	172
		日夏耿之介記念館展示	45
		その他の経費	2,661

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	展覧会の数（更新を含む）	本	17			
	観覧者数	人	32,000			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	20,897	（国）社会資本整備総合交付金（市街地整備）（4.5/10）5,789千円 （そ）諸収入217千円
	国庫支出金	5,789	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	217	
	一般財源	14,891	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	1	217 0	美術博物館事業費
2	1	10	5	6	11	18	9,991 0	菱田春草顕彰事業費
3	1	10	5	6	11	20	10,076 0	展示公開事業費
4	1	10	5	6	11	21	613 0	美術鑑賞機会提供事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 327　事業名 美術博物館展示公開事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	328		
事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	飯田市民及び下伊那郡住民
	意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館で学び合う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・これまで「伊那谷の自然と文化」の研究の基盤を支えた地域の研究者・研究団体が世代交代の時期に入っており、次世代の育成が進んでいません。協働の場と機会を設けて取り組んでいく必要があります。 ・学校教育との更なる協働が求められています。 ・教育普及事業の組立において、多様化する市民の学びの欲求に応える工夫が求められています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	自然部門では、自然講座、【新】地球探検隊、天文講座、自然史発表会、ジオパーク看板設置を行います。 人文部門では、文化講座、古文書講座を行います。 美術部門では、美術講座、春草講座、美術鑑賞の会、子ども美術学校、美術ワークショップを行います。 総合的な教育普及活動として、美博まつり、学芸祭、子ども写真教室、美博小中高校生写真賞を行います。 市民ギャラリーの運営を行います。 伊那谷研究団体の活動への支援を行います。	専門研究員等賃金	2,323
		自然部門教育普及	1,965
		人文部門教育普及	360
		美術部門教育普及	709
		総合教育普及	1,148
		研究費助成	450
		その他の経費	556

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	講座等開催数	回	93			
	講座等参加者のべ人数	人	7,000			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	7,511	(そ) 美術博物館観覧料57千円 (そ) 美術博物館施設使用料340千円 (そ) 諸収入567千円 (そ) 過疎地域自立促進基金繰入金1,500千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	2,464	
	一般財源	5,047	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	1	518 / 0	美術博物館事業費
2	1	10	5	6	11	18	556 / 0	菱田春草顕彰事業費
3	1	10	5	6	11	20	289 / 0	展示公開事業費
4	1	10	5	6	11	22	3,528 / 0	教育普及事業費
5	1	10	5	6	11	23	2,620 / 0	美術等活動推進事業費
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 328　事業名 美術博物館教育普及・活動支援事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・環境に関する学習を行うことによって、環境保全等への意識が向上する。	自然や環境に関する学習会の参加者を 年度末までに 600人以上とする。	年間計画による講座等を実施する。	10回開催し、333人が参加した。下半期の開催回数が多いので、目標は達成できる見込み。	○	22回開催し、参加者は1,156人で、目標の倍近くになった。南アルプス展に関連した講座には、年齢的にも地域的にも幅広い参加があったことも含め、成果が向上したと評価している。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	329		
事務事業名	プラネタリウム運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	飯田市民及び下伊那郡住民
	意図	ふるさとの自然・文化・星空・景観のすばらしさを学び、地域を大切にする心を育む

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ設置後6年が経過し、制御部分（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ）が原因で投影に支障をきたしたり、新規格の映像が組み込めなかったりする事態が発生しています。機器の更新計画を定めて対応していくことが必要です。 ・ｵﾘｼﾞﾅﾙ番組の制作や新たな活用法の調査研究を継続し、全天周映像の活用に取り組んでいく必要があります。 ・地域の要請に応じて、天文宇宙教育等の取組を強化していく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	通常投影として、主に親子や子どもたちを対象にした天文番組や教育アニメ番組を投影します。また、平日は、主に園児・児童生徒を対象に情操・理科教育に適した番組を投影します。 特別投影として、時機や話題の天文現象を紹介する投影や展覧会に合わせたオリジナル番組の投影を行います。 ヒーリングプラネタリウム・プラネタリウムまつり・新作発表会などを行います。 ふるさとの自然や文化を題材にしたオリジナル番組として「風越山(仮題）」を制作します。 天文講座の開催、地域･学校の観望会や宇宙留学サマーキャンプを支援します。	専門研究員等賃金	6,633
		一般番組制作（委託）	3,888
		オリジナル番組制作（委託・旅費・消耗など）	1,154
		チラシ・リーフレットなど（印刷）	630
		協議会や研修関係（旅費）	198
		機器の保守管理費	562
		著作権料・事務・管理費	498
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	プラネタリウム観覧者数	人	17,000			
	プラネタリウム投影回数	回	1,000			
	ドームイベント回数	回	10			
	オリジナル番組制作数	本	1			
	天文宇宙教育回数	回	10			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	13,563	（国）社会資本整備総合交付金（市街地整備）（4.5/10）341千円 （そ）美術博物館観覧料1,100千円
	国庫支出金	341	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,100	
	一般財源	12,122	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	25	8,785 / 0	プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	11	26	4,778 / 0	プラネタリウムオリジナル番組制作事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 329　事業名 プラネタリウム運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	330		
事務事業名	考古博物館管理運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			第２次飯田市教育進行基本計画
		○		飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン
	法令・例規等			博物館法
				飯田市美術博物館条例

事業目的		
	対象	①上郷考古博物館　秀水美人画美術館及び収蔵資料、作品　②飯田市民及び下伊那郡住民
	意図	①施設、収蔵資料・作品の維持管理を行う　②展示、ワークショップ等を行うことで研究成果を公表する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・「飯田市公共施設マネージメント基本方針」に基づき、考古資料館との統合などの検討を進める必要があります。 ・29年度から31年度にかけて、上郷自治振興センター・同公民館の改築に伴い、臨時事務所が併設されます。 ・併設の「秀水美人画美術館」のあり方を検討していく必要があります。

29年度取組

取組内容

上郷考古博物館及び秀水美人画美術館の維持管理、運営を行います。

展示公開事業として、常設展示の充実及び展示替えを行います。
　普及公開事業として、各種ワークショップや講演会、見学会などを行います。また、学校及び各種団体の学習を支援します。
　調査研究事業を行います。

経費の内容	事業費(千円)
臨時職員賃金	4,191
施設維持管理、運営費	6,184
常設展示費	224
教育普及活動・支援活動費	162
調査研究・収集保管活動費	535
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
常設展示の開催	日	291			
展示事業	回	1			
ワークショップの開催	回	10			
学校・地域・各種団体支援事業	回	50			
秀水美人画美術館展示替え	回	4			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	11,296
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	377
一般財源	10,919

特定財源内訳及び補足事項

（そ）考古博物館観覧料140千円
（そ）考古博物館施設使用料10千円
（そ）考古博物館講座受講者負担金125千円
（そ）諸収入102千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	12	1	11,296 / 0	考古博物館管理運営事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 330　事業名 考古博物館管理運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	－	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の表示(60cm×60cm)	○	○
											防火管理者の選任／消防用設備の点検（１回／年）及び結果報告／避難訓練計画の届出及び訓練の実施（1・2回／年）／無停電電源装置の法定点検と報告（1回／年）地下タ		○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・電気や燃料の消費による地球温暖化への影響が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。	電気使用量の削減を 年間を通じて励行し 対前年度比100％未満とする。	・冷暖房温度の設定を維持管理数値より高低する。 ・照明等機器類の節電を励行する。	９月より上郷自治振興センター・公民館が間借している関係で使用量がかなり増加している。 外的要因による増加であり、今年度は前年度との比較による目標管理は困難である。	×	自治振興センター・公民館との共有スペースの電気量が博物館分となっているため、前年度比139.9％となった。 特殊事情のため、目標管理はできない状況となっているが、自治振興センターにも協力を要請し、節減に努める。	×

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	331		
会計	一般会計				
事務事業名	上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H9	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		地方自治法	
		○	飯田市上村山村文化資源保存伝習施設条例	

事業目的		
	対象	上村山村文化資源保存伝習施設（まつり伝承館天伯）・ねぎや・民俗資料館
	意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示及び保存を行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・指定管理者による管理を行っていますが、入館者数が減少傾向にあります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	上村地区に伝わる遠山霜月祭の用具や山林作業の道具、山村生活の様子等を展示紹介する施設です。 指定管理者「(株)上村振興公社」による管理運営を行います。	保険料（建物共済）	30
		施設管理運営業務委託料	2,069
		借地料	49
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	展示月数	月	12			
	観覧者数	人	1,200			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,148	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,148	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	13	1	2,148 / 0	上村山村文化資源保存伝習施設費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 331　事業名 上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・電気や燃料の消費による地球温暖化への影響が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	53	事業No.	332		
会計	一般会計				
事務事業名	南信濃民芸等関係施設管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H2	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		地方自治法	
		○	飯田市南信濃民芸等関係施設条例	

事業目的		
	対象	南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）
	意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示及び保存を行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・指定管理者による管理を行っていますが、入館者数が減少傾向にあります。 ・約30年を経過する施設のため、老朽化による修繕等の対応が増えています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	南信濃地区に伝わる遠山霜月祭の用具や遠山郷の歴史文化等を展示紹介する施設です。 　指定管理者「（一財）飯田市南信濃振興公社」による管理運営を行います。	保険料(建物共済)	23
		施設管理運営業務委託料	2,301
		借地料	436
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	展示月数	月	12			
	観覧者数	人	3,800			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,760	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,760	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	14	1	2,760 / 0	南信濃民芸等関係施設費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 332　事業名 南信濃民芸等関係施設管理運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・電気や燃料の消費による地球温暖化への影響が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。						